

門真市内で『道路閉塞ワークショップ』を実施しました！

日 時：2015年12月20日（日）10：00～13：00

場 所：門真市民プラザ（門真市）

参加者：門真市五月田小学校区住民さん、合計約30名

ファシリテータ：建築学科学生8名+住環境デザイン学科学生13名+大学院生4名（計25名）

協 力：NPO法人あいまち門真ステーション、門真市

今回の見どころ

今回のプログラムは、災害時の道路閉塞に関するワークショップ（WS）でした。住環境デザイン学科学生が、事前に対象地区内の建物、電柱、塀、看板、自動販売機の調査を行い、その結果を反映した地図を用います。キーワードは、地震発生時に五月田校区内の避難経路が、家屋倒壊などによりどれだけ閉塞されるのか、実際はどこが安全な避難経路なのか、グループで協議して頂きます。また、榊ゼミ生（院生）が、事前調査結果を用いてGIS解析も実施しました。これら、「人の目で判断する道路閉塞」と「GIS解析にする道路閉塞」の状況を見比べる事が今回の見どころです。

プログラム実施風景



ゲーム開始前に会長からの挨拶。いよいよ始まり、緊張感が漂います。



摂南学生によるワークショップの趣旨説明です。皆さん真剣に聞いています。



グループで話し合った上で色分けをしようとするも戸惑いもあり、なかなかペンが動かない様子です。



色分けしていくごとにだんだんと地域の特性が理解できるようになりました。



結果提示。比較したことにより五月田校区の弱みを共有し、気づきがありました。



参加していただいた門真市五月田小学校区内の皆様ご協力ありがとうございました。

プログラム実施結果

各班で作成した地図とGIS解析の結果の地図と見比べることで、地域の避難経路としてどこが最適なのかを話し合いました。自分たちにとって「道路閉塞」をテーマにした取り組み自体が初めてであり、また、他学科学生との合同プログラムも初であったため、「進行が上手くいくのか」などの不安もありました。しかし、地域の方々が災害時のことを想定し、一生懸命取り組む姿を見て不安もなくなり、進めることができました。地域の方々の「五月田をもっと良くしよう」という気持ちが伝わるプログラムになりました。